

# 秋映(あきばえ)

登録番号：第3411号

育成者：小田切健男

登録年月日：平成5年3月10日

来歴：「千秋」と「つがる」の交

登録者：小田切健男（長野県中野市  
大字一本木57）

雑実生

## 特性

### ■栽培特性

樹勢・樹姿は中位で、若木では「千秋」に似る。枝梢の太さは中程度で、節間長は短く、短果枝の着生は良好である。開花期は「ふじ」より1～2日遅く、「ふじ」、「つがる」、「王林」とは相互に交配和合性が高い。熟期は長野県須坂市で9月下旬～10月上旬で、「千秋」より数日遅い。収穫前落果は猛暑の年を除きほとんどみられない。また、着色先行型の品種で、早くから着色するが、早採りの果実は酸味が強く、肉質も悪いので適期に採収することが必要である。

### ■果実特性

果実は300g前後、果形は円～円錐形で、王冠はやや弱い。かくあの深さ、広さは中位で、こうあの深さも中程度、広さは狭い。果皮の地色は黄緑で、果皮色は暗赤色である。着色は8月下旬から始まり、仕上がりは縞が不明瞭となり非常に優れ、無袋栽培に適している。さび状の大きい果点がある。糖度（屈折計示度）は14%前後で、酸（滴定）は0.4%前後と甘酸相和し、果肉色は黄白で肉質はやや粗である。硬度は15～16ポンドで硬いが、果汁が多く、食味は良好である。また、蜜はわずかに入る。

日持ち性は20℃の条件下で約3週間と良好であるが、貯蔵中、または遅くまで樹上に着果した場合はワックスの発生が目立つ。

### ■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

早期落果はほとんどみられないが、摘果剤としてのマイクロテナポンへの反応は敏感で、「ふじ」の使用基準に準じて散布すると過剰摘果になる恐れがあるので注意する。つるさびや胴さびは年により発生し、また、果形の不揃いが若干問題となるので、果実肥大を促進するため早期摘果に心がけ、仕上げ摘果にあたっては果実を揃え、さび果を除去する。

斑点落葉病にはかなり抵抗性があり、その他の病害についてはりんごの通常の防除暦によって防除すれば特に目立った病気は現れない。

### ■地域適応性

長野県では標高でおおむね500m以下の地帯で品質優良な果実が採れる。生育期間の気温が低い地帯では、収穫時期が10月中旬頃となり、酸味の抜けが遅く、また、果実の着色も濃く黒っぽくなる。長野県では暖かい地域に適する品種である。

(白田 彰)